

江戸川区 中小企業景況調査

2025年7月～9月 概要版

調査対象	製造業 122社	卸売業 16社
	小売業 59社	サービス業 45社
	建設業 38社	不動産業 23社
		合計 303社
調査時期	2025年9月上旬	
調査方法	面接聴取法	
調査機関	(一社)東京都信用金庫協会	
分析作成	(株)サーベイリサーチセンター	

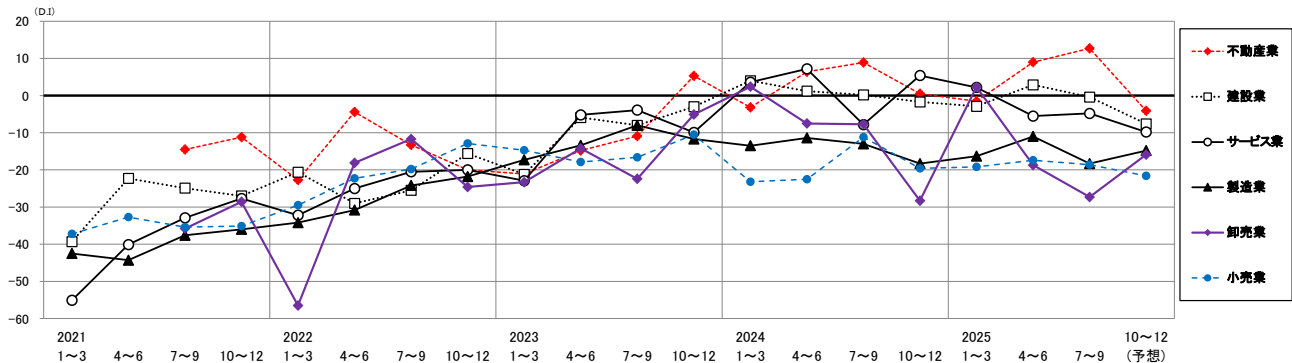
業況判断DIは前期(-9.0)から4.2ポイント悪化し-13.2となった。

～不動産業は堅調に推移し、サービス業がわずかに改善したが、卸売業と製造業は悪化傾向を大幅に強め、建設業は後退しわずかに水面下に落込んだ。～

業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-13.2(前期-9.0)と前期より4.2ポイント悪化した。業種別に見ると、不動産業が堅調に推移したが、卸売業と製造業で悪化傾向を大幅に強め、建設業が後退し水面下に落込み、小売業が悪化を強めた。

来期は、卸売業が大幅に改善し、製造業でも多少持ち直すが、不動産業と建設業が大幅に後退し厳しい状況に転じ、小売業とサービス業でも下降を強めると見ている。

<江戸川区内中小企業の景況・6業種推移(D.I.)>



※D.I.(ディーアイ)とは

Diffusion Index(デフュージョン インデックス)の略。良い(又は「上昇」「増加」など)と答えた企業割合から、悪い(又は「下降」「減少」など)と答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて、良いと悪いのどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

江戸川区の企業倒産動向

2025年7～9月期の江戸川区の倒産件数は、前期比5.9%減の16件(前期17件)、負債総額は前期比22.9%減の7億29百万円(前期9億46百万円)でした。

業種別にみると、件数では“卸売業”“建設業”“宿泊業、飲食サービス業”がともに3件で最も多く、次いで“小売業”と“情報通信業・運輸業”がともに2件でした。負債総額は“卸売業”が3億4百万円で最も多く、次いで“建設業”(1億47百万円)でした。

	(単位: 件・百万円)					
	前年同期 2024年7～9月		前期 2025年4～6月		今期 2025年7～9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	16	0	0	1	30
卸売業	3	113	3	56	3	304
小売業	1	30	2	130	2	50
サービス業	2	97	3	266	0	0
建設業	7	948	5	351	3	147
不動産業	0	0	2	63	1	40
情報通信業・運輸業	2	30	0	0	2	97
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	3	51
その他	1	64	2	80	1	10
合計	17	1,298	17	946	16	729

業種別の景況動向

	前期	今期	来期予想	景況動向
製造業	-11.0	-18.3	-14.8	<p>業況は悪化傾向がかなり強まった。売上額、受注残、収益はともに減少・減益傾向をわずかに強めた。価格面では、販売価格は上昇がかなり弱まり、原材料価格も上昇が多少弱まった。</p> <p>来期の業況は悪化傾向がわずかに弱まると予想している。売上額は今期並の減少が続くが、受注残と収益は減少・減益傾向が多少弱まると見ている。</p>
	やや悪い	やや悪い	やや悪い	
卸売業	-18.7	-27.3	-15.9	<p>業況は悪化幅が大幅に拡大した。売上額は減少傾向を大きく強め、収益も減益幅が極端に拡大した。価格面では、販売価格は今期並の上昇が続いたが、仕入価格は上昇が大幅に弱まり厳しさが和らいだ。</p> <p>来期の業況は水面下ながら大きく持ち直すと予想している。売上額は大幅に持ち直し増加に転じ、収益も極端に持ち直し減益傾向に歯止めが掛かると見ている。</p>
	やや悪い	悪い	やや悪い	
小売業	-17.4	-18.6	-21.6	<p>業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額と収益も前期同様の減少・減益が続いた。価格面では、販売価格と仕入価格は前期同様の上昇幅で推移した。</p> <p>来期の業況は悪化幅が多少拡大すると予想しており、売上額と収益も減少・減益傾向が若干強まると予想している。</p>
	普通	普通	やや悪い	
サービス業	-5.5	-4.8	-9.8	<p>業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額はやや減少を強めたが、収益は減益傾向が一服した。価格面では、料金価格と材料価格も上昇が大幅に弱まった。</p> <p>来期の業況は悪化幅が幾分拡大すると見ている。売上額は減少がさらに強まり、収益も減益傾向がかなり強まると予想している。</p>
	普通	やや良い	普通	
建設業	2.9	-0.4	-7.6	<p>業況は再び後退しわずかにマイナスに転じた。売上額は大幅に持ち直して増加に転じたが、受注残は大幅に後退しマイナスに転じた。施工高は増加幅がやや縮小し、収益は減少に歯止めが掛かった。価格面では、請負価格と材料価格は上昇が大幅に弱まった。</p> <p>来期の業況はさらに悪化傾向を強めると見ている。売上額は再び水面下に落込み、受注残は多少改善し、施工高は今期並の増加幅が続くと予想している。収益は減少・減益傾向がかなり強まると見ている。</p>
	やや良い	やや良い	普通	
不動産業	9.0	12.7	-4.1	<p>業況は堅調に推移した。売上額は増加傾向がやや後退し、収益は減益幅がやや拡大した。価格面では、販売価格は多少上昇を強め、仕入価格は大幅に上昇傾向が強まった。</p> <p>来期の業況は大幅に後退し水面下に落込むと見ており、売上額も増加から減少に大きく転じ、収益も減少・減益傾向を大幅に強めると予想している。</p>
	良い	とても良い	やや良い	

(参考) D.I.に基づく景況判断指標

	とても良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	とても悪い
製造業 卸売業 建設業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
小売業 不動産業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下
サービス業	15以上	14~5	4~△5	△6~△15	△16~△25	△26~△35	△36以下